



2022年6月22日

各 位

会 社 名 トレイダーズホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 貴行
(東証スタンダード市場・コード 8704)
問合せ先 取締役 新妻 正幸
(TEL 03-4330-4700 (代表))

取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、コーポレートガバナンス強化の一環として、2022年3月期に係る取締役会の実効性に関する分析及び評価を実施いたしましたので、その結果の概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 取締役会の実効性評価のプロセス

当社は「コーポレートガバナンス・コード」における取締役会実効性の評価に基づき、2022年3月期について、取締役及び監査役に対して取締役会の実効性に係るアンケート調査を実施しました。当該アンケートは、無記名回答方式とし、4段階での評点かつ自由記入欄を設けて、問題点や課題の抽出や要因分析、建設的な意見を得られる形式となっております。当該集計結果をもとに、当社が定例で開催しているコーポレートガバナンス委員会において取締役会の実効性の分析及び評価を行い、今後の改善に向けた施策等を協議しました。

[評価項目]

- 取締役会の構成に関する質問 (8項目)
- 取締役会の運営に関する質問 (9項目)
- 取締役会の議題に関する質問 (12項目)
- 取締役会を支える体制に関する質問 (8項目)
- 取締役会における取締役の職務執行の監督に関する質問 (7項目)
- CGコード改訂重点内容に関する質問 (6項目)

2. 取締役会の実効性に関する分析及び評価結果

今回のアンケート結果では、取締役会の構成・運営・体制並びに取締役の職務執行の監督に関する事項については、各項目とも概ね肯定的な評価となり、適切な議事運営の下、社外役員を含めて活発な議論がなされた上で審議が行われており、取締役会は全体として実効性は確保できていることを確認いたしました。

一方で、取締役会の議題に関する質問項目において、当社グループの中期経営計画の進捗状況に関して検証の頻度を増やし、事業環境の変化に伴う課題の認識と改善を早期化するための審議の機会を増やすことの重要性を再認識し、また、東京証券取引所におけるコーポレートガバナンス・コードが企業に要請する各項目の重要性、企業の非財務情報の積極的な開示の意義を確認し、今後の

取組みの強化や情報開示等の在り方の検討を引き続き継続していくことといたしました。

3. 今後の対応

上記の分析・評価結果を踏まえて、今後の取締役会の運営を改めて精査し、当社グループの中期経営計画の達成へ向けた経営課題の審議により多く注力していくこと、また、企業活動におけるサステナビリティおよびE S G課題への取組みについては、中長期的に当社の企業価値創造に不可欠な重要課題であることを再認識し、事業活動を通じた取組みを強化するとともに、国際的な潮流を踏まえ、今後の本アンケートの質問項目にもそれらの取組みに対して取締役会が積極的に関与できたかどうかの評価等について社外取締役を中心として独自に検証し追加していくことと致します。

以上